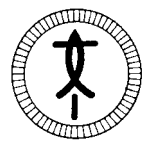


常磐会報



Vol.55
December
2024

英知 創造 敬愛
今こそ 京都



目次

常磐会会長・校長ごあいさつ	2
令和6年度常磐会総会によせて	3
卒業生からのおたより	3～5
恩師からのおたより	5～6
京都高校の近況報告	7
コラム「校史を読む 二」	8
スマートフォン決済について	8





びあつわし

常磐会会長 和田 雄二 (高校31回生)

常磐会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。今年度も常磐会総会が無事終了し、ホッとしているところですが、まずは、この1年間を大過なく務めることができましたのも、会員の皆様方のご協力の賜物と心よりお礼申し上げます。今後も、常磐会の「常磐」が意味する「永久不変」の歴史と伝統を引き継ぎ、熟慮断行の精神で臨んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年5月に新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類に移行され、いよいよ世の中はアフターコロナへ動き始めました。常磐会総会事業におきましても、昨年度は4年ぶりにすべての事業を通常通りのスケジュールで実施することができました。ブランドを乗り越えて頑張っていたいただきました昨年度実行委員会の皆様、お疲れさまでした。

ます。

また、本年度総会の開催にあたり、コロナ禍が過ぎたとはいえ、円安、物価高騰などの不安定な経済状況が続く中にもかかわらず、快くご協賛いただきました皆様に対しまして心よりお礼申し上げます。皆様のご厚意は、総会事業の運営、現役京都高校生への援助にと、大切にに使わせていただきます。誠にありがとうございます。

さて、一昨年度より「令和6年版常磐会会員名簿」の作成に取り掛かっており、本年12月の発行に向けて作業を進めてまいりました。5年に一度の発行ではありませんが、会員名簿は同級生をつなげる根幹を成すもので、その発行は常磐会の重要な事業の一つであります。今回も会員の皆様のご支援とご協力のお蔭によりまして、予定通り発行できることとなりました。心よりお礼申し上げます。名簿の修正等の場合は、事務局に直接ご連絡いただくか、常磐会公式ホームページからも可能となっておりますのでご利用ください。

結びになります。母校京都高校のさらなる躍進と、同窓会常磐会のますますの発展、そして会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

○常磐会公式ホームページURL <https://dousoukai.site/miyako-tokiwakai/>



びあつわし

校長 白川 英治 (高校35回生)

本年4月に第37代校長として着任いたしました白川英治と申します。私事ですが、執行前校長の1学年後輩で、本校卒業35回生です。卒業生として、微力ながら母校発展のお役に立ちたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

常磐会の皆様には、平素より本校の教育活動の推進に、多大なるご支援をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年の常磐会総会として久しぶりの懇親会開催に引き続き、今年度も常磐会総会並びに懇親会が盛大に開催されることに対しまして、心からお慶び申し上げます。本日の総会に向けて公私ともに忙しい中、準備に取り組んでいただきました。44回生常磐会総会実行委員長の豊瀬敦様をはじめ、実行委員の皆様のご労苦に深甚なる敬意を表したいと思います。

本校の職員も校長及び教頭の管理職3名を含め20名が常磐会会員であり、令和8年度を迎える創立110周年に向けて大変心強く感じているところです。

私は国語科の教諭・主幹教諭として本校に平成17年から10年間勤務させていただきました。その後1年間県教育委員会と県全体の教育活動に携わらせていただき、平成28年には全日製の教頭として創立100周年の記念事業に尽力させていただきました。先生方と心を一つにして取り組んだ創立100周年記念事業は、苦勞もありましたが私の生涯の思い出として心に刻まれていきます。この度7年ぶり3度目の母校勤務となり、私の教員生活の集大成となるよう母校のために一日一日を大切に過ごしてまいりたいと意を強くしているところです。

さて、本年度は、昨年度に引き続き『地域のみならず世界を舞台に活躍する人材を育成する』をスクールミッションに掲げ、教師

個々の資質・能力である「教師力」、地域とともに成長するための「連携力」、学校としての組織的指導力である「学校力」の向上を図り、教育活動の充実に努めています。また、定時制におきましても、生徒会の自主的な清掃活動が近隣の方から喜ばれており、学校はもちろん地域の環境整備に貢献してくれています。

ここで、本年3月に卒業した76回生の進路状況についてご報告させていただきます。国立大学には、京都大学・大阪大学各1名、九州大学・熊本大学・山口大学各8名、九州工業大学9名、大分大学7名、岡山大学・長崎大学各3名、神戸大学・福岡教育大学・鹿児島大学各2名、北九州市立大学29名など115名が現役合格いたしました。このように進路実績におきましては、組織的指導力が実を結び、多くの生徒が希望進路実現を果たしています。

部活動でも立派な成績を残しており、体育部では水泳部が九州大会出場を果たし、バレーボール部・バスケットボール部・野球部・サッカー部・バドミントン部が県大会に出場するという素晴らしい実績を収めました。文化部におきましても、吹奏楽部と放送部が県大会に出場し、今年度は放送部が全国大会出場を果たすなど、知・徳・体のバランスの取れた活動が成果として表れています。

最後になりますが、御会におかれましては、京都奨学会を通じましての奨学金の授与をはじめ、例年援助いただいております京都研修等、大変心強いご支援をいただいておりますことに、教職員一同、心より感謝いたしております。今後とも引き続きご支援とご協力を母校に賜りますようお願い申し上げますとともに、御会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和6年度

常磐会総会によせて



実行委員長 豊瀬 敦 (高校44回生)

今年度、常磐会総会実行委員長を拝命いたしました。豊瀬敦と申します。本年も、常磐会総会の開催にあたりまして、多くの皆さまより、多大なるご支援を賜り、高校44回生・57回生・69回生、定時制高校31回生を代表いたしましたして、心より厚く御礼申し上げます。

さて、私は高校卒業後、大学進学のため福岡へと移り住み、大学では、今までは違ったスポーツに取り組みたいと考え、アメリカンフットボール部に所属し、4年間、部活動に明け暮れておりました。部活動をする中で、多くの友人と切磋琢磨し、新しいことに踏み込んでチャレンジしていくことの楽しさを学びました。また、部員が60名近くいる中で、最終学年の時に主将に任命していただき、大勢の考えをまとめて、ひとつの方向に導くことの難しさも学びました。

へ進学ができたのかなと感謝もあります。大学卒業後は、関西方面に配属され、7年間、勤務した後、福祉施設の起業のため、行橋へと戻ってまいりました。37歳の時に、現常磐会会長の和田さんが実行委員長を務める実行委員会の中当番として参加したのが、常磐会との最初の縁でした。

その後、子どもの進学に伴い、PTA活動に従事するようになり、常磐会との接点も増え、私が、京都高校のPTA会長に任命されると同じぐらいに、和田さんが常磐会の会長に就任され、縁とはすごいものだなと感じました。

恥ずかしながら、京都高校のPTA会長として活動する中で、常磐会が京都高校生のための奨学金制度の運営など、母校の発展に寄与する取り組みをおこなっていることを初めて知りました。

今年度は、アフターコロナということもあり、一般企業の方々の中には、協賛金の協力をお断りされるところも多くありました。

しかし、その一方で、多くの起業されている卒業生から、また、多くの卒業生が繋いできた「一般の方々との縁のおかげで、「頑張っつね」との激励とともに協賛をいただけたことに、地域に根差した京都高校の縁に心より嬉しさを感じました。

人と人との繋がりを大事に地域で100年以上も続く母校に感謝をしつつ、今後ますます、母校が発展を遂げることを祈念いたしまして、実行委員長の挨拶と代えさせていただきます。



Message from Alumni

卒業生からの おたより1

女性 男性 共に存分に生きる

高女30回生 品川 洋子



「京都」と「常磐」という優雅で寿ぎの名の学校、同窓会。先に創立百周年記念を祝って、ますます松の緑のように力強く進展していきますこと、お慶び申し上げます。

私たち高女三十回生は、在校四年のほぼ前半が戦中、後半が戦後で、卒業するとうすぐ女学校は終了になりました。新制の高等学校になると、活力ある学校として松の緑のように盛んで、同窓会活動も活発で、高女卒業生として喜んでいきます。今年も同窓会幹事の方から、会開催の連絡がありました。

その日、五月二十二日、朝日新聞の夕刊に、次のことが出ていました。

「東大に女性 なぜ少ない？」

学生は二割、教授は一割」

かねて女性の進路や社会的活動に、男性との隔たりが大きいと言われてきました。戦後、八十年にもなるというのに、戦前は男女平等」としながら「現実には男性優位社会」という状態が続いてきました。しかし、最近これを強く指摘し、大きく改善することになってきています。

私は旧学制を出てから新学制に移り、これまで女性に門戸を閉ざしていた大学に男女共学の一期生として入学し、卒業して教職に就きました。大学一期生として男女の真の平等への自覚を持っていました。公立中学校長など学校管理職、母校大学講師、私立女子大教授などを六十年間、続けました。

その中で女性も校長、教頭など学校管理職に就けることから、私はごく初期に就きました。

その後も女性の学校管理職はごくわずかで容易に増えず、周囲は私より年齢の上の男性がほとんどで、女性は私一人かごく少数という状態が続きました。

その間、男女平等は進むはずでしたが、中学校教頭、校長など学校管理職を二十二年間続ける間、周囲の状況はほとんど変わりませんでした。

その中で、私は頭を上げて、するだけのことをすると決めて続けました。そこで、区切りごとにして来た事実を

教育論文にして確実に発表し、遺してきました。

そして公立中学校長を定年退職する時、これまで自分がしてきた「事実を確実に記すこと」を思い立ち、本を出すことにしました。

『ひらく 校長として女性として』（平成十五年 中央公論事業出版）を「事実の記録」として、五冊目を公刊しました。さらに九十歳になる時、「事実を記す」だけでなく、「今後のあり方への期待、願い等」を今後のために記さなければと思いい立ちました。

『つなぐ 女性の中学校長から』（令和六年 同出版刊）を公刊しました。これが六冊目です。

「ひらく」から「つなぐ」ことに真の意義があると思っています。

『つなぐ』は今年の一月刊で、京都高校にもお届けしました。

京都高校は、女学校からの伝統は勿論、高校で女性男性にかかわらず存分に生きる力を付けていると思っています。女性に「ガラスの天井」などあるか無いかは本人の力次第です。勇気をもって進んで欲しいと思っています。

教育の分野だけでなく、広く女性、男性とも伸びやかに活動できる社会が本当の社会です。これから男



性、女性ともに存分に生きられる社会、「真の男女共同参画社会」の実現を期待しています。

卒業生からのおたより2

幻のテニスコートは学食と私の生きる礎

高校44回生 横溝 耕平



コロナ禍の3年前に始めたこと。飲み会自粛に合わせて禁酒（2ヶ月でやめた）、それで余った時間に英字新聞を読む（今も続けている）、そしていちばんは本格的にランニングを始めたこと。

平日は朝5時前に起きて150m ダッシュ×30回、休日は30キロ走とか、大体ひと月に300キロくらい走る。分厚い専門書を読んで試行錯誤しつつ、つまりどつぷりハマっている。そして今年の2月には念願の別府大分毎日マラソンに初出場！鬱屈した時期に何か新しいことをやるうって前向きになれたのは京都生の頃のあの出来ごとのおかげでもあるのかと。

軟式テニス部員だった私は、男女合わせて2面のコートでは手狭だなんて

ことでお隣の遊休地を文字通り「開墾」してもう1面作った。でこぼこで雑草だらけの空き地は、他の部員たちと一緒に冬の間スコップとトンボで均してどうにか使えるようになった。ところがこれが学生食堂の建替え用地だったらしくひと夏越した頃にはもう使えなくなっていた。発奮して練習がんばったのか、それも忘れたけど団体戦あと一勝で県大会つてところまでいった。当時は悔しいなああって思ってたけど、今では「まあいいかよくやったぞオレたち」という心境。でも先生方へ、建替え計画知ってたのなら教えてほしかった…。その場所には当時の学食がまだ鎮座している。

そうそう、コロナ禍の頃に映画「男はつらいよ」を50編全部観た。いちばん刺さった会話は第39作、満男「人間は何のために生きてんのかな?」、寅さん「生まれてきてよかったなあって思うことが何べんかあるじゃない、そのために生きてんじやねえかな」

夏の夕方の部活、べたつく空気のなか校舎から流れてくるプラスチック部の「プアーツ」って楽器の音、コーラス部の「アアアアアア」ってハーモニー、部室棟からは「あ・え・い・う・え・お・あ・お」これは演劇部、そして我がテニス部の「エイツ、エイツ」ってかけ声に囲まれて騒がしくも幸せなひと時だったなと、たまにじんわり思い出す。今がなばれてるのはきつとこんな経験のおかげもあるんだろうな。

そして今、当時の仲間たちと総会に向けてにぎやかに活動中。これもまたいつ

の日かしみじみした思い出になるのかな。マラソンの目標は還暦までに3時間切り、さあ練習練習！

【追伸】2ヶ月続けた禁酒をなぜやめたのか、それは息子が父の日に贈ってくれた焼酎のせい。銘柄は「天使の誘惑」。

卒業生からのおたより3

卒業32年経って

高校44回生 原田 力

令和6年度常磐会総会実行委員の皆様、総会及び総会誌への御尽力、ありがとうございました。そして御苦勞様でした。

現在、苅田町で原田皮フ科医院を開業しております、原田と申します。タイトルにもありますが、京都高校を卒業してから、もう32年も経ち、年齢も50歳と半世紀となっていることにいまさらながら驚いているところです。

京都高校に入学したときは昭和から改元したばかりの平成元年でした。自宅から自転車京都高校の合格発表の掲示板を見に行ったのを覚えています。それから無事入学させて頂き、1年生の担任は烏田幸雄先生、2年及び3年生の担任は合屋伸一先生でした。当時は、まだ週休1日制だったので、授業が課外授業を含めると土曜日も4時間目までであり、3年生の時は6時間目まであったと記憶しています。とにかく「数宿」「英宿」をはじめ、多々の宿題に日々追われていたような気がします。

部活はサッカー部に所属し、顧問は吉田武彦先生でした。どの部活もそうだと思いますが、ほぼ毎日練習でした。課外授業が終わった後から部活が始まるため、日が落ちて暗くなりボールが見えなくなるまで練習したり、時には照明を点灯しながらの練習となったりしていました。夏休み中には合宿もあり、午前、午後と練習をした後、校舎の教室内にゴザを敷いて寝泊まりしていた思い出があります。そのため、帰宅してから、宿題をしようと思っても睡魔によく負けていたため、母親に何度も起こされていました。

課外を含めた授業や部活のおかげで、とにかく休みがあまりなかったように思います。それでも何とか3年間京都市立高校に通い、無事に卒業できました。卒業した翌年に何とか大学に合格したのですが、その後の大学生活も確かに授業や実習、試験などいろいろ大変でした。しかしながら、高校生活に比べたら、まだそこまででもなかったような気がします。それぐらい、僕の中での高校生活は印象深い3年間でした。

その後、無事大学を卒業し、医師として第一歩を踏み出したのですが、そこからも毎日医師としての仕事、そして研鑽の日々を重ねてきました。そしてその日々は父から継承した当院の医師として、現在も継続中です。

地元で仕事をしているため、時々京都高校の生徒も患者さんで来院することもあります。その時は、卒業32年も経っています。少しだけ（勝手に）先輩風

を吹かせて診療することがあったりします。卒業生という経歴をコミュニケーションツールとして首尾よく利用させて頂いています。

一般的に、仕事というものは、それを成し遂げるために紆余曲折はつきもので、いいことも悪いこともあり、一筋縄ではいかないことも多々あると思います。当然、医師の仕事もそうであり、しかし、僕自身、今までこの仕事をやめようと思ったことはありません。当然大変だったり、しんどかったりすることも多々ありましたが、何とか乗り越えられてきたのは、振り返ると、今までの様々な経験がある中で京都高校での3年間の経験が一翼を担っていたと感じています。今後もさらに経験を積み続けていくことで、自分のできる限りではあります。地域医療に貢献していきたいと思っています。



Message from Teacher

恩師からの
おたより1

第二の母校
京都高校

高校44回生 3年3組担任
執行 儒 先生



京都高校第四十四回生を始めたとする担当回の皆様、常磐会の皆様、準備から当日のお世話まで本当にお疲れ様です。

さて、私は昭和六十三年四月に新規採用教員として福岡県に採用となり、京都高校に赴任いたしました。初めての地で、そして初めて教壇に立つということもあり、慣れないことが多かったことを覚えています。しかし、非常に明るく、まじめな生徒さん達と一緒に勉強でき、大変楽しかったです。特に、四十四回生が人生で初めて担任を務めた学年で、大変多くの思い出が残っています。初めて担任を持たせていただけたこと

を伝えられた時は、本当に嬉しかった。今でもその時の思いは覚えています。三年間持ち上がらせていただき、色々なことを経験させていただきましたが、その一つ一つがその後の教員人生に大きな影響を与えたことは、言うまでもありません。学校が変わっても、時がいくら過ぎても、いつも京都高校での経験が、私にとっては全ての基礎になりました。京都高校は私にとっては「第二の母校」です。

そんな私も今年で六十歳となり、教員生活もあとわずかとなりました。皆さんとの思い出や皆さんから学ばせていただいたことを今一度思い出して、最後まで頑張って行こうと思えます。

最後になりましたが、京都高校のますますの発展と、四十四回生を始めとする、卒業生の方々のご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

恩師からの
おたより2

鳥田 幸雄 先生

高校44回生 3年7組担任



京都高校同窓生のみならず、いかがお過ごしでしょうか。

赴任した京都高校から転出して、気がつけばもう30年近くが経過してしまいました。私は昨年定年を迎えはしたもので

の、それ以前とほとんど変わりなく仕事を続けています。元氣なつもりではないですが、さすがに体にはあちこち老朽化の波が押し寄せてきており、視力も低下、聴力も次第に劣化し始めてしまいました。かつて教室で私の授業を我慢強く聞いてくれた方々の、地域や社会や同じ職場で活躍する姿や様子が、私の老朽化した目や耳にあれこれと入ってくるようになり、世代交代の波が押し寄せてきていくことをひしひしと感じる毎日です。

学校はこの30年で大きく様変わりしました。コロナ禍は教育のICT化を一気に推し進め、今やコンピュータなしでは学校の教育活動は難しくなっています。高校生にも一人一台のコンピュータ端末が配布され、小テストや教材資料はネットワーク上で実施や配布が行われるようになりました。調べ学習でも、YouTubeで動画資料に簡単にアクセスできる時代など、30年前に誰が想像できたでしょうか。日進月歩どころか、分進秒歩と言った方が適切だと思える急激な変化の中で、これから増えてくるデジタルネイティブ世代の同僚と肩を並べて仕事をするとすると、どこかの映画ではありませんが「生きて、抗え」とでも言っただけを鼓舞しないといけないような気がしています。

最近、京都高校を訪れる機会が少々増えました。以前と外観こそ変わりませんが、内部は様変わりしています。「京都の7不思議」などと噂された色々なスポットもすつかり様変わりして、その頃の面影はなく、きれいに整備されていま

す(ちなみに、そのスポットができあがった原因のいくつかに、私は関わっていたのですが…)。うだるような暑さの中、汗だくになって、朦朧とした頭を振りながら踏ん張った夏課外や、寒さの中震えながら、使い捨てカイロを握って耐えた冬課外も、空調が導入されてもはや昔話、確実に学校もよりよい方向に進んでいると感じます。

時には大変だった過去を振り返って、よりよくなった今を見直してみる必要もあるでしょう。そうすることで、今よりももっと良い未来をつくり、次の世代に伝えることができるはず。久々に会う友人や先生方と昔の思い出を懐かしみながら、次の世代のためによりよい世界を考える。今回の同窓会がそんなきっかけになれば最高ではないでしょうか。

恩師からの
おたより3

44回生の皆さんへ

高校44回生 3年8組担任

合屋 伸一 先生



常磐会総会・懇親会の開催おめでとうございます。

コロナ禍は、同窓会に限らず様々な行事について、改めて毎年続けていく意義や価値の再確認と、その再構築を我々に突き付けました。

同窓会を起点に確かめ合う同級生の横のつながり、それを縦につむいで過去と未来をつなぐ世代を超えた交流は、学校にとつてもかけがえのない財産です。常磐会が同窓生相互のつながりをさらに深め、これからもその名(evergreen)のとおり、京都高校の魅力の象徴としてあり続けることを心から願っています。

私は、平成元年4月から4年3月にかけて高校44回生の担任をさせていただきました。

44回生が入学してきた時は教員としての6年目をスタートしたばかりの27歳でしたが、今では60歳の定年を通過して、3人の子どもと4人の孫をもつ62歳になりました。

22歳で京都高校に赴任して始まり定年を迎えるまでの教員生活38年を振り返るとき、京都高校で生徒の皆さんとともに過ごした充実の日々は、生徒指導や進路指導、教科指導とすべてにおいて未熟だった私にとつて、教員として・人としての大きな成長につながる密度の濃い最も貴重な8年だったということができます。

30歳で地元である福岡に戻ってから、おかげさまで素晴らしい上司や先輩、同僚、そして何よりエネルギーあふれる生徒達に恵まれ、母校である福岡高校で校長を務める機会までいただくなど、幸せな教員生活を送ることができたからと心から感謝しています。

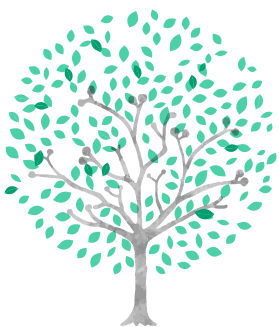
私自身は、このように恵まれた日々を過ごすことができましたが、ここ数十年の我が国を見ると、冒頭に書いたコロナ禍に加え、幾度となく大きな災害にも見舞われ、失われた30年ともいわれる経済の停滞など、決して良いことばかりではありませんでした。

変化のスピードと振幅がしだいに大きくなり、予測不能とまでいわれるまでになった社会では、どれだけ誠実に向き合っても思うように事が運ばないことの方が多いかもしれません。

それでも、44回生の皆さんは家庭や組織、社会の中核として考え、判断し、行動する主体であることが求められる年代の真ただ中にあります。

皆さんの、ますますのご活躍と豊かな人生を祈念して、節目ごとに幾度となく私に示唆を与えてくれた喜劇王チャールズ・チャップリンの有名な言葉で締めくくらせていただきます。

人生はクローズアップで見れば悲劇だが、ロングショットで見れば喜劇だ。(Life is a tragedy when seen in close-up, but a comedy in long-shot.)



京都高校の近況報告

部活動主な戦績

※令和5年4月～令和6年3月までの期間での県大会以上

《体育部》

バレーボール部

○福岡県高校バレーボール新人大会
県大会出場 男子（1回戦）

バスケットボール部

○全国高校総体バスケットボール大会福岡県予選
県大会出場 女子（1回戦）

野球部

○第105回全国高校野球選手権大会福岡県大会
県大会出場（1回戦）

サッカー部

○全国高校総体サッカー大会福岡県予選
県大会出場（1回戦）

バドミントン部

○福岡県高等学校総合体育大会バドミントン選手権大会
県大会出場 男子団体（2回戦）

卓球部

○全国高校総体卓球選手権大会福岡県予選
女子個人（1名）（2回戦）
女子ダブルス（1回戦）

水泳部

- 全国高校総体水泳競技選手権大会福岡県予選
男子 50m自由形（1名） 7位
- ◎全国高校総体水泳競技選手権大会九州大会
男子 50m自由形（1名） 18位
- 福岡県水泳競技選手権大会新人大会
男子 50m自由形（1名） 1位
男子 100m自由形（1名） 5位
- ◎全九州高校水泳競技選手権大会新人大会
男子 50m自由形（1名） 6位
男子 100m自由形（1名） 13位

《文化部》

美術部

○福岡県高文連総合文化祭美術・工芸部門
奨励賞（4名）

囲碁・将棋部

○福岡県高文連総合文化祭将棋新人大会
男子の部 3位

吹奏楽部

○福岡県高文連総合文化祭吹奏楽部門 県大会出場
○第17回福岡県アンサンブルコンテスト 県大会出場

放送部

○福岡県高校放送コンテスト 県大会出場 4名
○福岡県高文祭放送コンテスト 県大会出場 1名

写真部

○福岡県高等学校総合文化祭写真部門
県入選 準特選（1名） 入選（5名）

文芸部

○福岡県高文連総合文化祭文芸部門
県大会出場 文芸部詩部門 優秀賞「葦」第64号

令和5年度 進路状況

国立大学合格者数（既卒者を含む）

設立	大学名	学部	人数	設立	大学名	学部	人数
国立	千葉大学	看護学部	1	公立	熊本大学	理学部	1
	京都大学	理学部	2		熊本大学	文学部	1
	大阪大学	外国語学部	1		熊本大学	法学部	1
	神戸大学	海洋政策科学部	1		大分大学	教育学部	2
		国際人間科学部	1		大分大学	理工学部	5
	岡山大学	工学部	1		宮崎大学	教育学部	1
		法学部	1		鹿児島大学	水産学部	1
		文学部	1		鹿児島大学	法文学部	1
	広島大学	医学部	1		秋田県立大学	システム科学技術学部	1
	山口大学	経済学部	1		富山県立大学	情報工学部	1
		医学部	2		岡山県立大学	情報工学部	1
		工学部	5		新見公立大学	健康科学部	2
	九州大学	薬学部	1		周南公立大学	情報科学部	1
		経済学部	3		山口東京理科大学*	薬学部	3
工学部		4	山口東京理科大学*	工学部	2		
九州工業大学	工学部	6	下関市立大学	データサイエンス学部	2		
	情報工学部	3	下関市立大学	経済学部	4		
福岡教育大学	教育学部	2	北九州市立大学	外国語学部	6		
佐賀大学	経済学部	1	北九州市立大学	文学部	5		
	理工学部	1	北九州市立大学	法学部	6		
長崎大学	医学部	1	北九州市立大学	経済学部	6		
	教育学部	1	北九州市立大学	国際環境工学部	5		
	経済学部	1	北九州市立大学	地域創生学群	1		
熊本大学	医学部	2	九州歯科大学	歯学部	1		
	薬学部	1	福岡県立大学	看護学部	4		
	教育学部	2	福岡県立大学	人間社会学部	4		
	工学部	1	長崎県立大学	情報システム学部	2		

*正式名称：山陽小野田市立山口東京理科大学

私立大学合格者数（既卒者を含む）

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
国際医療福祉大学	3	佛教大学	2	筑紫学園大学	1
青山学院大学	1	立命館大学	5	中村学園大学	6
桜美林大学	4	近畿大学	14	西日本工業大学	44
慶応義塾大学	1	関西学院大学	3	福岡大学	72
芝浦工業大学	1	岡山理科大学	1	福岡工業大学	38
拓殖大学	1	広島国際大学	3	福岡歯科大学	1
中央大学	1	梅光学院大学	6	福岡学院大学	1
帝京大学	1	徳島文理大学	1	九州栄養福祉大学	6
東海大学	2	九州共立大学	1	日本赤十字九州国際看護大学	2
東京家政大学	1	九州国際大学	6	聖マリア看護学院大学	1
東京農業大学	1	九州産業大学	30	福岡女学院看護大学	1
日本大学	1	九州女子大学	12	純真学園大学	3
早稲田大学	1	久留米大学	2	福岡国際医療福祉大学	4
麻布大学	1	産業医科大学	8	令和健康科学大学	1
関東学院大学	8	西南学院大学	12	活水女子大学	2
横浜薬科大学	1	西南学院大学	15	崇城大学	2
同志社大学	2	第一薬科大学	6	熊本保健科学大学	1

はじめに、令和5年度の生徒の進路状況をご紹介します。令和5年度は、四年修了生十四名、三年修了生二名が卒業しました。十六名のうち、在学中の仕事を継続している生徒もいますが、卒業後の進路は進学が三名でした。つぎに、令和5年度の主な活動をご紹介します。

九月に行われた生活体験発表北九州地区大会に、本校から三年生二名が出場しました。二名ともに、これまでの自身の経験をふまえて発表し、奨励賞を受賞しました。

部活動のうち、文化部関係では、北九州芸術祭総合美術展書道部門において、三年生四名が入賞し、一名が特選となりました。また、行橋市人権啓発作品（書道の部）において、四年生一名が入選となりました。さらに、福岡県高等学校書道教育研究会主催授業作品展では、三年生三名、二年生一名が優秀賞を受賞しました。

体育関係では、福岡県高等学校校定時制通信制体育大会夏季大会陸上競技大会において三年生一名が全国大会出場を果たしました。

本年度は、新入生十五名を迎え、全校生徒五十二名でスタートしています。生徒たちは、日々仕事に勉学に全力で励んでいます。



令和5年度の生徒の進路状況をご紹介します。令和5年度は、四年修了生十四名、三年修了生二名が卒業しました。十六名のうち、在学中の仕事を継続している生徒もいますが、卒業後の進路は進学が三名でした。つぎに、令和5年度の主な活動をご紹介します。

校史を読む 二

京都高校四十年史

山内 公二（高校11回生）

今から六十六年前の昭和三十三年（一九五八）十二月二十日、京都高校創立四十周年記念式典が行われた。当時、私（高校十一回生）は三年生で、古い体育館に紅白の幕が張られ、古谷弘校長が式辞を述べられたことをはつきりと覚えている。

それから十一ヵ月後の昭和三十四年十一月一日、「福岡県立京都高等学校四十年史」が発行された。A5判（横15.5cm×縦21cm）267ページ。第一章 創設時代から第四章 本校の現状まで、明治四十五年の開校前史から四十数年間の学校の歴史がくわしく綴られている。

この種の学校史は通常、編集委員会を組織して複数の執筆委員が分担して原稿を書くが、この四十年史は、日本史を教えられていた松林安藏先生が一人で、取材・調査・執筆をされた。私は、在学中、新聞部で「京都高校新聞」を編集していた。松林先生は、たびたび新聞部室にいられて、創刊号からの京都高校新聞に目を通されてメモをとられていたのを拜見していた。

四十年史を読むと、重要な事項が一つ一つ要領よく記述されており、草創期以来の先人の努力で、立派な学校が出来上がったことを教えてくれる。

私は、そのあとに発行された五十年史、六十年史、七十年史、八十年史、九十年史、百年記念史を読み返してみたが、四十年史ほどのくわしい記述はない。

学校近くの崎野の教員宿舎に住んでおられた松林先生は四十年間の教師生活を終えられた後、奥様の実家の大分県本耶馬深町（現・中津市）跡田に移られた。

ここで町史編纂に携わられたら、「松林史郎」のペンネームで歴史小説を書かれて、「耶馬の夜明け」（昭和五十六年刊）、「耶馬に薫る」（昭和五十八年刊）の二冊を福岡市の葦書房から出版された。

京都高校の校史を読むたびに、松林安藏先生は偉大な先生だったとつくづく思う。

スマートフォン決済について

「払込取扱票」のバーコードをご使用ください。
コンビニや郵便局に行くことなく、自宅で支払いが完了します。
スマートフォンでの決済手順は以下をご参照ください。

PayPayの場合を示していますが、他のアプリもほぼ同じ手順で行えます。
アプリが入っていない場合は、アプリをインストール・登録した上で①にお進みください。



【手順①】
ホーム画面の「請求書払い」を選択

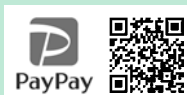
【手順②】
払込取扱票のバーコードを読み取る

【手順③】
支払金額を確認し「支払う」を選択

※コンビニエンスストア・スマートフォン決済からご入金いただく場合は、通信欄がご利用できません。
住所・氏名に訂正がある場合は、郵便局・ゆうちょ銀行をご利用いただくか事務局までご連絡ください。
※ご入金いただく際は、必ずお手元に届きましたご本人様の振込用紙を使用してください。
※スマートフォンアプリでの決済画面にてシステム代行会社「サラト」と表示されますが、「常磐会」の入会金・年会費で間違いございません。

ご利用いただける スマートフォン決済アプリ

※利用方法の詳細については、各アプリ事業者のHP等をご確認ください。



訂正・調査専用ページを開設しました。

- ・同封の振込用紙のQRコードからご自身のページをご覧いただく事ができます。
- ・ご自身の住所等の訂正の他、同級生等の住所不明者をご確認いただけます。
- ・住所不明者の新住所は必ずご本人様にご確認のうえ、常磐会事務局へお寄せください。

